年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用）　　教科　地理歴史　　科目 世界史探究

教　科：地理歴史　　科　目：世界史探究　　単位数：3　単位

対象学年組：第　2 学年　D　組～　G　組

使用教科書：（ 詳説世界史（山川出版）　　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地理的特色と日本及び世界の歴史の展開について、理解を深めるとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、現代社会に見られる様々な課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び国際社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて、現代社会が抱える課題を主体的に解決しようと取り組む。

科目　世界史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・古代文明、東アジアと中央ユーラシア、南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 ・諸地域の歴史的特質に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、諸地域の歴史的特質を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○ガイダンス ○世界史へのまなざし ○第1章　文明の成立と古代文明の特質 ○第2章　中央ユーラシアと東アジア世界 ○第3章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・教科書、資料集、用語集、ICT端末　等を使用	【知識及び技能】 ・諸地域の歴史的特質に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 ・古代文明、東アジアと中央ユーラシア、南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、諸地域の歴史的特質を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	30
2学期	【知識及び技能】 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流に広がりを構造的に理解する。 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○第4章　西アジアと地中海周辺の国家形成 ○第5章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ○第6章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・教科書、資料集、用語集、ICT端末　等を使用	【知識及び技能】 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象を構造的に理解している。 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	30
3学期		○第7章　ヨーロッパ世界の変容と展開 ○第8章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・教科書、資料集、用語集、ICT端末　等を使用		○	○	○	30
						合計	90